

平成24年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社メディサイエンスプランニング

コード番号 2182 URL <http://www.mpi-cro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 浦江 明憲

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部副本部長 兼経理部長 (氏名) 瓦谷 純一

TEL 03-5820-7071

四半期報告書提出予定日 平成24年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第3四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第3四半期	6,075	21.5	779	131.0	730	102.9	369	86.4
23年8月期第3四半期	4,998	2.5	337	81.0	359	99.7	198	711.5

(注) 包括利益 24年8月期第3四半期 369百万円 (88.4%) 23年8月期第3四半期 196百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第3四半期	142.24	—
23年8月期第3四半期	76.33	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第3四半期	4,230	1,850	43.7
23年8月期	3,660	1,571	42.9

(参考) 自己資本 24年8月期第3四半期 1,850百万円 23年8月期 1,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年8月期	—	20.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年 8月期の連結業績予想(平成23年 9月 1日～平成24年 8月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	15.1	950	44.9	873	32.5	437	18.5	168.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期3Q	2,597,600 株	23年8月期	2,597,600 株
② 期末自己株式数	24年8月期3Q	— 株	23年8月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期3Q	2,597,600 株	23年8月期3Q	2,597,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
(1) 受注実績	10
(2) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景とした緩やかな景気回復の動きがあるものの、欧州政府債務危機を背景とした金融資本市場の変動や海外景気の下振れ等によって、景気下押しリスクが存在し、予断を許さない状況で推移しております。

医薬品業界におきましては、新薬の創出が困難になりつつあること等により、医薬品の輸入超過が拡大する中、政府により「医療イノベーション5カ年戦略」がまとめられ、医療関連分野を成長産業として位置付けることが提言されました。また、製薬企業においては、アンメット・メディカル・ニーズ領域を含むパイプラインの充実や、研究開発体制の強化、海外事業の基盤強化等が進められております。

当社グループの属するCRO業界におきましては、新薬開発の効率化を図る製薬企業のアウトソーシング志向の高まりを受け、市場規模は緩やかに拡大を続けております。

このような環境のもと、当社グループは、平成25年8月期（第31期）を最終年度とし、「強い組織の育成」、「明確な差別化」、「次世代に向けての準備」を柱とする中期経営計画「アクションプラン30 plus one」の推進に取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間においては、平成24年5月15日付で、インターネットを利用した医療関連サービスを提供するエムスリー株式会社と資本・業務提携契約を締結いたしました。治験支援事業やCSO事業において、両社の強みやノウハウを活用した協業体制を構築することにより、CRO業界の中で「明確な差別化」を実現できるものと考えております。また、中核であるモニタリング業務の強化、CSO業務や安全性情報を扱うファーマコヴィジランス業務の拡大、グループ内での連携等にも引き続き取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,075,811千円（前年同期比21.5%増）、営業利益779,700千円（同131.0%増）、経常利益730,050千円（同102.9%増）、四半期純利益369,481千円（同86.4%増）となりました。

業務別の業績は、以下のとおりであります。

① モニタリング業務

当業務における売上高は、既存プロジェクトの順調な進捗に加え、新規プロジェクトの受託や、当社グループが注力する中枢神経・がん・生活習慣病領域の受託が増加したこと等により、4,550,708千円（前年同期比16.7%増）となりました。

② データマネジメント業務

当業務における売上高は、大型プロジェクトの検収や、新規クライアントからの受託が増加したこと等により、274,152千円（前年同期比139.5%増）となりました。

③ ファーマコヴィジランス業務

当業務における売上高は、特定派遣プロジェクトが順調に推移したことに加え、委受託プロジェクトにおいて新規クライアントからの受託が増加したこと等により、490,681千円（前年同期比14.1%増）となりました。

④ その他業務

当業務における売上高は、積極的な営業活動や人材の確保が堅調に推移したことによりCSO業務が拡大し、760,268千円（前年同期比37.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ639,038千円増加し、3,479,982千円となりました。これは、主として現金及び預金の増加525,047千円、仕掛品の増加95,240千円等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ69,507千円減少し、750,118千円となりました。これは、主として関係会社株式の減少40,691千円、のれんの償却26,325千円等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ569,530千円増加し、4,230,101千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ319,989千円増加し、1,536,767千円となりました。これは、主として未払費用の増加292,234千円等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ29,286千円減少し、842,922千円となりました。これは、退職給付引当金の増加41,217千円等があった一方、役員退職慰労引当金の減少78,496千円等があったことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ290,702千円増加し、2,379,690千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ278,828千円増加し、1,850,410千円となりました。これは、繰越利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月30日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴う影響を当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の見積実効税率の算定に反映しております。これにより、未払法人税等は26,829千円増加し、法人税等は同額増加しております。

（受注損失引当金）

当第3四半期連結会計期間末における契約案件において、損失の発生が見込まれ、かつ、その金額を合理的に見積もることができる契約案件が認識されたため、当第3四半期連結会計期間から、受注損失引当金30,673千円を計上しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上原価が30,673千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,158,613	1,683,660
売掛金	1,107,081	1,154,354
仕掛品	319,793	415,034
貯蔵品	414	773
その他	255,041	226,159
流動資産合計	2,840,943	3,479,982
固定資産		
有形固定資産	103,167	86,604
無形固定資産		
のれん	109,045	82,720
その他	37,165	53,280
無形固定資産合計	146,211	136,001
投資その他の資産	570,246	527,512
固定資産合計	819,626	750,118
資産合計	3,660,570	4,230,101
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	289,873	209,434
賞与引当金	233,086	153,672
受注損失引当金	—	30,673
その他	693,818	1,142,987
流動負債合計	1,216,778	1,536,767
固定負債		
長期借入金	475,000	475,000
退職給付引当金	251,239	292,456
役員退職慰労引当金	127,779	49,283
その他	18,190	26,182
固定負債合計	872,209	842,922
負債合計	2,088,987	2,379,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	361,520	361,520
資本剰余金	261,081	261,081
利益剰余金	948,414	1,226,980
株主資本合計	1,571,015	1,849,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	567	829
その他の包括利益累計額合計	567	829
純資産合計	1,571,582	1,850,410
負債純資産合計	3,660,570	4,230,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)
売上高	4,998,659	6,075,811
売上原価	3,644,020	4,331,613
売上総利益	1,354,638	1,744,198
販売費及び一般管理費	1,017,047	964,497
営業利益	337,591	779,700
営業外収益		
受取利息	19	93
受取配当金	100	—
持分法による投資利益	24,240	—
未払配当金除斥益	—	267
その他	8,044	84
営業外収益合計	32,405	444
営業外費用		
支払利息	8,385	6,611
持分法による投資損失	—	40,953
その他	1,883	2,529
営業外費用合計	10,269	50,095
経常利益	359,726	730,050
特別利益		
負ののれん発生益	1,184	—
特別利益合計	1,184	—
特別損失		
移転費用引当金繰入額	3,839	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,783	—
リース解約損	1,059	1,187
その他	771	—
特別損失合計	11,453	1,187
税金等調整前四半期純利益	349,458	728,862
法人税等	151,190	359,380
少数株主損益調整前四半期純利益	198,267	369,481
四半期純利益	198,267	369,481

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	198,267	369,481
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,051	262
その他の包括利益合計	△2,051	262
四半期包括利益	196,216	369,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196,216	369,744
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成23年5月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年5月31日)

当社グループは、CRO事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、平成24年6月27日開催の取締役会において、エムスリー株式会社（以下、エムスリー）及び株式会社M I Cメディカル（以下、M I Cメディカル）との間で、エムスリーによるM I Cメディカルの発行済普通株式及び新株予約権に対する公開買付け（以下、本公開買付け）の成立を前提とした資本・業務提携の検討を行うことについて決議いたしました。

1 資本・業務提携の目的及び理由

治験業界における確固たる事業基盤を構築し、3社が有する経営資源を最大限に活用することで、企業価値の更なる向上が見込めると判断したため、本資本・業務提携の検討を行うこととなりました。本資本・業務提携により、3社合計（子会社含む）で650名規模のCRA(Clinical Research Associate：治験モニタリング担当者)を擁するアライアンスネットワークとなる見込みであり、これにエムスリーの提供するインターネットを活用した新しい治験関連サービスを組み合わせることで、今までにない新しい付加価値を提供して参りたいと考えております。

2 資本・業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

①業務提携

- イ 営業情報の共有や、3社のリソース及びノウハウを活かした共同提案等、受注面での協力。
- ロ 人的リソースを必要に応じて相互に交流し最大限に活用。
- ハ CRA その他人材の教育及び研修を共同で実施。
- ニ インターネットを積極的に活用した治験の効率化を共同で推進。

②役員派遣

本資本・業務提携によるシナジーの実現を加速化するため、エムスリーから当社及びM I Cメディカルに取締役を派遣。

(2) 資本提携の内容

- ①エムスリーは、本公開買付け等により、M I Cメディカルの完全子会社化を進めます。
- ②エムスリーは、完全子会社化の効力発生日に、3社による協業関係をより強固なものとするため、M I Cメディカルの発行済株式の25%に相当する株式を当社に譲渡します。

3 提携会社の概要

(1) エムスリー株式会社の概要

- ①名称 エムスリー株式会社
- ②本店所在地 東京都港区赤坂一丁目11番44号
- ③代表者の役職・氏名 代表取締役社長 谷村 格
- ④事業内容 インターネットを利用した医療関連サービスの提供
- ⑤資本金 12 億80百万円
- ⑥設立年月 平成12年9月

(2) 株式会社M I Cメディカルの概要

- ①名称 株式会社M I Cメディカル
- ②本店所在地 東京都文京区湯島二丁目31番27号
- ③代表者の役職・氏名 代表取締役社長 田村 茂
- ④事業内容 臨床開発業務を支援するCRO事業
- ⑤資本金 7 億13百万円
- ⑥設立年月 昭和61年12月

4. 補足情報

(1) 受注実績

事業の業務別の内容	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比 (%)	受注残高(千円)	前年同期比 (%)
モニタリング業務	4,803,282	97.3	5,546,271	94.5
データマネジメント業務	382,523	174.4	426,732	126.5
ファーマコヴィジランス業務	622,820	133.2	218,259	170.6
その他業務	1,066,356	199.0	791,353	119.0
合計	6,874,983	111.7	6,982,616	99.8

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

事業の業務別の内容	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
モニタリング業務	4,550,708	116.7
データマネジメント業務	274,152	239.5
ファーマコヴィジランス業務	490,681	114.1
その他業務	760,268	137.4
合計	6,075,811	121.5

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。